

挑戦

大宮小&済美小&大宮中 夢のタスキを9年間つなぎます！

なでしこ

『なでしこの 色鮮やかに 明るく強く 優しい心で 毎日挑戦』

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

平成30年10月23日 第6号(18-6)

発行責任者：校長 関田 誠

10/22 朝会 校長講話

『吐くという字は口から+』の話

～”口から+言葉”を習慣にしよう～

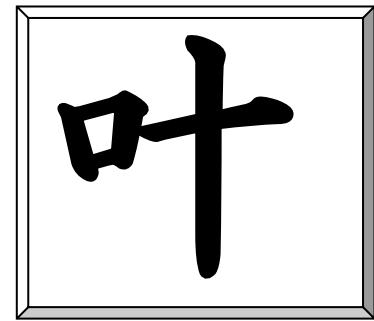
10月は一年間の折り返し。今朝は、音楽発表会の近い皆さんに、成功のコツを話します。以前オリンピックのメダリストや、逆にあと一歩でメダルを逃した人の名言や感動した言葉を紹介するTV番組で、『しゃべる言葉の大切さ』の話を視聴しました。なるほどと感心したので、皆さんに紹介します。それは『吐』という漢字です。この字は、口を書いて右に+（プラス）と-（マイナス）と書きます。私たちは日頃、口から前向きなプラス思考の言葉、後ろ向きでマイナス思考の言葉を発します。マイナス思考の言葉ばかりを言っていては、少しも前に進むこともできないし、自分の目標や夢を達成しにくいそうです。自分の言葉が自分の心にブレーキをかける。そして周りと壁を作ってしまうからだそうです。

そこで、マイナス思考の言葉は使わないように、この吐くという字のマイナスを取ってしまうとなんと『叶』という字になる！口から前向きなプラス言葉をどんどん發して、実現のために努力する。例えば「（自分は、私達は）できる、やれる、頑張れる、みんなで頑張る！」私は番組を視聴しながら、『吐く』と『叶う』という漢字に、単なる言葉遊び以上の深いものを感じました。

現在、合唱曲に挑戦中の皆さんのクラスはどうですか？前向きな言葉をかけ合っていますか？後ろ向きなつぶやきはありませんか？ぜひ、使う言葉を大切にして素晴らしい合唱を当日披露してください。また、三年生のさんは、いよいよ本気の進路選択のこれから、学級や部活などの雰囲気作りに、ぜひ口から発する言葉に注意してみてください。+（プラス）の言葉を口から発して夢を『叶える』。『誰でも』『すぐに』『タダで』できる成功の1つのコツです。心理学的にも理に適っている行動だと、私は思います。自分の言葉を一番近くで聞いているのは、自分の耳なのです。『ヒトは使う（しゃべる、聞く、考える）言葉で作られる』ということです。



マイナスを
取ると…



修学旅行 (第3 学年)

10

8~10

3年生が待ちに待った修学旅行。天候にも恵まれ、関西方面に行ってきました。当日校長から3学年保護者に送った連絡メールの一部を紹介いたします。

1日目朝 おはようございます。いよいよ始まりました。心配された台風の影響もなく、天気に恵まれる3日間になります。東京駅では、7:20に丸の内集合場所に着くと、既に10人ほどおりました。ほどなく全員集合。一見落ち着いて見えますが、皆ワクワクが隠せない表情です。出発式では、私は「ルールの中で楽しめ！」と、「笑顔を絶やさず仲間と絆を深めて、大宮中三学年に福を招こう！」



東京駅での開校式

と話しました。
現在、のぞみの車内は、
座席をクルクル回して、ペチャクチャと
おしゃべり、
トランプ、し

りとり、一発芸、歌をうたう生徒、中には真面目に(?)茶碗の絵づけ等々、じわりと盛り上がりつつあります。幸い大宮中で1両専有しています。どんなにハッスルしても大丈夫です。どんどんエネルギーを発散して、夜スヤスヤ寝てくださいね！後ろの男子がうるさいよ～。耳栓が必要でした。

1日日夜 こんばんは！ここまで予定通りです。今、部屋で入浴、明日の仕度をしています。新大阪から神戸にバスで移動して、1995年の阪神淡路大震災の記念館で、防災学習をしました。常駐するボランティアガイドの方に、「生徒さんの質問のレベルが高いですね」とお誉めの言葉をいただきました。最後に、東日本大震災の津波の記録動画を観ました。記憶がよみがえり、全員言葉を失いました。

そこから班行動で神戸の街を散策しました。私がホテルの目の前の岸壁公園に到着すると、『BE KOBE』という記念写真スポットがありました。しばらくはカップルやら旅人が旅の記念に撮影するのを、遠巻きに見ていた大宮中生。やおら、一つの班が勇気を出して、カップルに混ざり列に並んで撮すのを見て、全員に火がついて、後は20分ほど大宮中御用達の独占状態とな



津波体験ができました

りました。様々ポーズを取って、集合時間ギリギリまで、撮影を楽しんでいる姿が、何とも微笑ましかった。担任はやきもきしたかもしれません。夜はディナークルーズでした。明石海峡大橋まで往復する間、バイキングディナーを楽しみました。「このまま、東京湾まで乗って帰りたい！」と言っていた生徒もいたとか。ホテル個室の修学旅行は、私は初めてです。部屋では2人で枕投げをするのでしょうか？窓を開けると涼しい風が入ってきます。神戸はおしゃれな街です。それでは、また明日。おやすみなさい。

2日目朝 おはようございます！ホテルのテラスからは海が見下ろせます。穏やかな海面、爽やかな青空にカモメが飛んでいます。レストランに降りると朝食バイキングでした。のんびり部屋着の生徒や臨戦態勢完了の標準服の生徒と様々です。レストランの一画には、美味しそうな和洋様々な料理が並びます。皆、静かに品よくいただいていました。

8時にはバスに乗り込んで、いざ奈良へ。バスの中で「もう1日終わっちゃったね」「うん。



東大寺の柱抜け

あと2日楽しもう！」ふと、そんな会話を聞きました。各班でチームワーク良く、充実した学習をしてきてほしいです。今、USJの横を通過。ハロウィンイベントはイチオシだそう。ガイドさんの案内に、思わず「行きてえ…」という生徒のつぶやきが聞こえました。このバスガイドさん、切れ目なく喋りまくりです。関西弁でオモロイ話を混ぜながら、生徒を寝かせません。優秀な仕事ぶりです。全員元気一杯です(除く先生)！行ってきます！熱い1日になりそうです。

2日日夜 こんばんは！熱い暑い1日でした。午前中の法隆寺は一番乗り状態で、混雑を避けられ、悠々見学できました。1300年前に聖徳太子が歩いた廊下を、皆で歩きました。木造建築がよく残ったものです。生徒たちは日本の文化の歴史を感じていました。東大寺は大仏の大きさにビックリしたり、鹿の糞を踏まないように気を使ったり。とにかく外国人が大勢いました。彼らの目には、日本の文化がどのように映るのか(鹿の糞は大丈夫ですか？等々)英語でインタビューさせたかったなど、現地で思いました。各班で京都に移動して、見学地では想定外の事態を切り抜けながら、宿のホテルに無事に戻りました。部屋でひと風呂浴びて着替えて、夕食は洋食ディナー。男子の中には、ステーキ1枚でお代わりを敢行し、女子からステーキの残りをカンパされ、3杯目をお代わりした者もい

ました。若いなあ。今は清水焼の絵付けをしています。にぎやかに楽しそうです。ここまで、皆元気です。今夜も寝るかなあ。最後の夜を迎えます。それでは、おやすみなさい。

3日目朝

おはよう
ございます！京都
は曇りで
す。傘マーク
が出てい
ます。今日



はタクシー行動です。笑顔で次々に出発していきます。ベテランの運転手の案内で、市内を回り、13:30頃に京都駅に戻ります。最終日、頑張ります。

3日目夕刻 ただいま、帰って来ました。もうすぐ東京駅です。ここまで無事に戻りました。予報通りに12時過ぎに雨が降り始め、京都駅集合時刻には、本降りになっていました。天気はぎりぎりセーフでした。この三日間で、3年生は仲間や先生方と、更につながりを学び、絆を深めることができました。時に真面目に一生懸命、時にくだけてノリが良く、意外に自分に厳しく、そして仲間に優しい、様々な良い面を発見し合いました。大宮中の校長として、3年生を誇りに思います。卒業まであと半年。まだまだ成長していく、彼らを支える細川丸への応援をよろしくお願ひいたします。今、東京駅に着きました。生徒は車内で「戻りたくなかった～」と言っています。

職場体験学習 (第2学年)

10

5~12

地域の事業所のご協力の下、三日間の職場体験を行いました。大変充実した社会勉強になりました。受入先の事業所の皆様、ありがとうございました。



【受入先】大野整骨院、コスモス、サミット西永福店、びっくり寿司、ふれあいの家、給食室、高井戸警察署、高井戸図書館、図書室、杉並消防署、大宮八幡宮、美容院 SATO、不二家、子供園（敬称略）

連合運動会

(C組)

10

11(木)

済美山グラウンド陸上競技場で、区内特別支援学級の連合運動会に参加しました。体育の授業での体力作りの成果が出て、個人の短・中距離走やリレー競技で全力を発揮していました。また、最後にダンスを教職員や保護者の大人と楽しみました。私もダンスと一緒に踊ってウキウキしました。



下町巡り

(第1学年)

10

12(金)

上野、浅草、湯島、谷根千、両国、深川などの下町を、班行動で学習してきました。下町の町並みや建造物、史跡、地場産業への理解を深めたり、観光地の不便な点の現状を把握しました。今後の学習につなげていきます。



授業ぶらっと訪問⑤

10月17日（水）森永先生 2-A 音楽

音楽発表会前の貴重な授業です。「こんにちは～」⇒肩ほぐし⇒複式呼吸⇒生徒は笑顔。導入は森永先生のピアノ伴奏に合わせて、流れるような進行です。

課題曲を一回歌ってから、「ストローの話はしたかな?」。(ストローって何だろう?)生徒の顔が上がります。「皆の合唱は、小さい音に魅力がない!多くのクラスは、小さい音がただ弱々しくなる。pの出し方。肺に息を一杯入れたら、その息を牛乳ストローを吹くような喉のイメージ。mpの出し方は、タピオカのストローから息を吹き出す感じで、等々」 意思をもって声をコントロールしてというメッセージ。森永先生の言葉は、生徒がイメージしやすい。

いよいよ自由曲『雲の指標』です。バスから音取りの確認が始まります。5人の生徒の表情がよく、声も出ています。まだ、大人のバスの声ではありませんが、一生懸命歌っているところは好感です。テノール、アルトと続いていきます。他のパートも、横で小さな声で合わせています。生徒全員を一秒も退屈させません。これは本当に凄いことです。

森永先生の授業は、とにかくテンポが良い。以前、森永先生にその話をしたとき、「音楽は週1時間、50分です。授業時間の1分、1秒を無駄にしないように心がけています」という言葉が印象に残っています。

途中、「みんな足つけて。疲れていると思うけど、背もたれ使わないで!」と力が入ります。森永先生は練習中にピアノの伴奏をしながら、声色、表情、そして手の動きが激しく伴います。姿勢も「ちゃんと立って。重心を取って!よい姿勢で」と檄が飛びます。最後に自由曲を一回通し。「途中で音が迷子になつたら、その瞬間手を挙げてください」と注釈を入れてから歌い始めます。伸びのある声で明るく歌います。最後に授業の振り返り。個人評価カードに記入。こういう取り組みはマンネリ化しやすいのですが、一生懸命記入していました。『森永ワールド』全開の授業でした。



10月16日（火）並木先生 C組 国語

C組の3人の元気の良い挨拶で始まります。今日の授業のねらいは

『友だちに行事についてのインタビューをしよう!』と黒板に大きく書きます。それを聞いて「誰にもインタビューしたくない…」とつぶやきが聞こえます。すかさず並木先生は、『関根先生に聞きました!』という、関根先生の全身写真と、そのまわりに面白そうなインタビュー記事があり、生徒の興味を引きます。私も読んでみたいと思いました。



次に3人で聞き手と受け手の分担を決めて、インタビューの内容を考えて、質問事項を付せん紙に書きます。タイマーを使って、10分間と指示しています。付せん紙があると、生徒は思いついたことを気楽に書きやすい雰囲気になります。どんどん書いている生徒には、「最終的に記事を作るから、他の人も興味をもてるような質問にしないとね?」と優しく導きます。さらに質問の順番を考えさせます。「面白いエピソードを引き出すような質問もいいですね」とアドバイスします。

その後、2人が机を向き合させて、インタビュー開始。「修学旅行は何が大変だった?」「階段がたくさんあって登るのが大変だった」「何を食べたの?」「1日目はライスとローストビーフ。2日目はパンケーキとペッパーステーキとかいろいろ食べた」等々。相手を変えて再びインタビューです。「調理実習はどこに買い物に行ったの?」「サミット妙法寺店」「何をやったの?」「餃子づくり。キャベツをみじん切りしてひき肉や長ネギと混ぜました」「やらかしちゃったことは?」「中華スープづくりを失敗しました。」「どう失敗したの?」「盛り付けです」「美味しかった?」「かなり美味しかったです」「食べ終わった後片づけはうまくできたか」「片づけは、うーん。特にありません」「今回の体験を踏まえて反省は?」「自分たちで考えて動けたらよかった」 言葉のキャッチボールがあり、質問も臨機応変にできており感心しました。

最後に一人一人にインタビューの反省をどうだったか、授業の振り返り。少し早口なところもあるけれど、丁寧に説明をして生徒の話をよく聴く優しい表情の並木先生でした。